

クーラントチューブスリーブ®

PAT No.6596113

CNC旋盤用新型ボーリングバースリーブ

クーラントスルーを上回る冷却効果と切粉除去性能

- 外部給油のクーラントを刃先に安定供給。
- ターレット式旋盤ならメーカー・年式にかかわらず使用可能。
- 複雑な配管や接続いらずで面倒なクーラント調整が不要に。

紹介と使用方法の動画がございます。
記載のQRコードでご覧になれます。
または、弊社HPからも視聴できます。

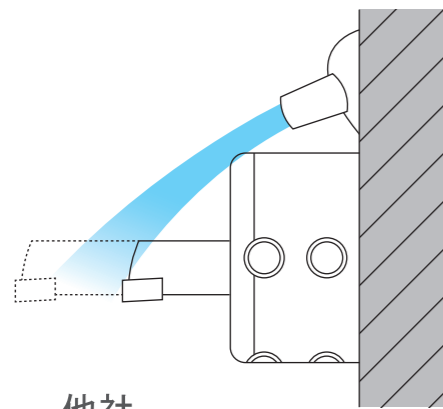


総焼入れ・内外径総研磨仕上げにより
高い精度と耐久性を有しています。

フラット4面・止めビスを3ヶ所を設けて
いるため、汎用性に優れています。



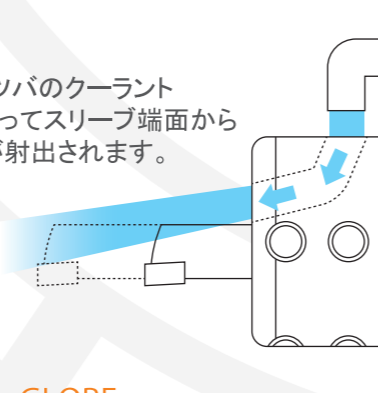
Point.1 クーラントをボーリングバーに沿わせて噴射できます。



他社
従来型スリーブ

突き出し量によりクーラントの
当たり方にムラが生じてしまいます。

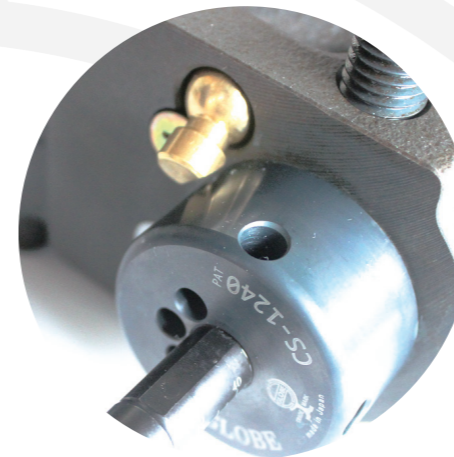
スリーブのツバのクーラント
誘導穴を通してスリーブ端面から
クーラントが射出されます。



GLOBE
クーラントチューブスリーブ®

突き出し量に関わらずクーラントが
ボーリングバー先端から元まで常に安定します。

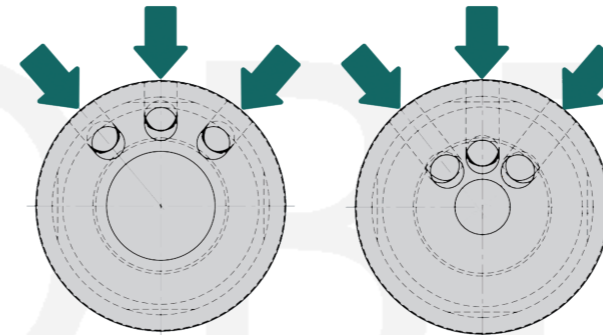
クーラントを一度空中に飛ばして方向を変換する方式のため、
Point.2 パイプなどでの複雑な接続が必要ありません。



「クーラントチューブスリーブ®」の側面に設けられた
クーラント誘導穴にクーラントを流し込むだけで
刃先に安定したクーラントを供給できます。

従来の様に毎回パイプ等を曲げてクーラントの
かかりを調整する必要がありません。
また、内部給油式とは違い、機械のメーカー・年式
によって方式が異なったり専用のパイプ等で接続する
必要がありません。

クーラントを流し込む穴の位置が各サイズ同じなので
Point.3 クーラントの射出方向の調整が不要になります。



「クーラントチューブスリーブ®」は、クーラントを
流し込む位置を各サイズ統一しているため、
一度ターレットにエルボをセットすれば、それ
以降はスリーブ交換などの段取り替えの場合
でも、クーラント方向の調整は、ほとんど不要です。

各ホルダー形式に対応したエルボを用意しております。



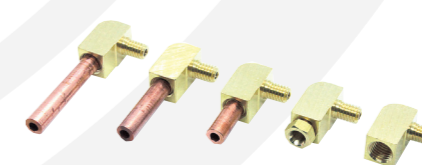
ボール状のノズルをビスで固定して
いるタイプのホルダ



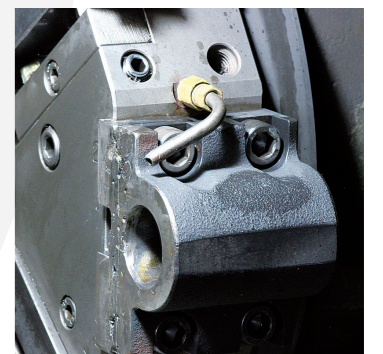
自社製、ナベヤ製等がございます。
様々なボールのサイズに対応できます。



クーラント射出口にネジが切ってある
タイプのホルダ



自社製、ピスコ製等がございます。
ネジの長さやバリエーションを数多く用
意しております。



パイプがターレットから直接伸びて
いるタイプのホルダ



お持ちの機械にあらかじめ付いている
パイプをご用意いただくか、弊社で販売
している銅パイプをご用意下さい。

クーラントを流し込みにくい場合に便利なスペーサーもございます。
詳細はP.8の「スリーブパーツ」をご参照下さい。